

告 諭

内閣告諭

支那事變勃發以來茲ニ二年有餘、稜威ノ下皇軍將兵ノ勇
戰健闘ト、軍後國民ノ協心戮力トニ依リ、未曾有ノ戰果ヲ
獲得セリ。然レドモ事變ノ推移ニ善處シ、國際政局ノ情勢
ニ對應シ、此ノ時艱ヲ克服シテ聖戰所期ノ目的ヲ貫徹シ、
以テ東亞新秩序ノ建設ヲ完成センガ爲ニハ、更ニ國民精神
ノ昂揚ト國家總力ノ發揮トニ俟タザルベカラズ。是レ畏ク
モ 聖勅ノ既ニ諭シ給ヘル所ナリ。全國民宜シク 敦旨ヲ
奉體シテ、奉公ノ誠ヲ效スベキナリ。

顧フニ國民精神總動員ハ、事變勃發直後ヨリ實施セラレ
各自相競ウテ盡忠報國ノ精神ヲ振起シ、之ヲ日常ノ業務生
活ノ間ニ實踐シ來レリ。唯夫レ今後局面ノ益々重大ナルベ
キヲ豫想スレバ、國民精神總動員モ亦之ニ即應シテ更ニ一
層ノ強化ヲ必須トスペシ。是レ曩ニ其ノ新展開ニ關スル基

本方針ヲ決定シテ、全國民ノ決意ヲ新ニシ、銳意之ガ實效
ヲ擧ゲンコトヲ期シツツアル所以ナリ。因テ茲ニ國民精神
總動員委員會決定ノ趣旨ヲ採擇シ、毎月一日ヲ以テ興亞奉
公日ト定メ、之ヲ恒久實踐ノ源泉タラシム。是ノ日即チ全
國民ガ特ニ戰場ヲ勞苦ヲ想ヒ、自肅自省、的確ニ之ヲ實際
生活ノ上ニ具現シ、一億一心、興亞ノ大業ヲ翼賛シ、以テ
國力ノ增强ヲ圖リ、強力日本ノ建設ニ邁進スルノ日タリ。
全國民必ズヤ克ク此ノ趣旨ヲ諒トシ、小ナル實踐モ之ヲ積
シテ大ナル目的ニ到達セシメ、傳統的精神力ヲ集結シテ、
國家總力ノ發揮ニ努メ、以テ 敦旨ニ奉對スル所アラン。
是レ本大臣ノ深ク全國民ニ期待スル所ナリ。

昭和十四年八月十一日

内閣總理大臣 男爵 平沼騏一郎